

畜産とくつく情報

平成 20 年 3 月 6 日
(通算第 95 号)
問い合わせ先
長野県庁園芸畜産課
電話 026-235-7232

- ◎ 家きん(鶏、あひる、うずら、七面鳥、きじ、だちょう、ほろほろ鳥)を100羽以上飼養している
 - ◎ うずらを飼養している
 - ◎ 家きんを飼養している学校等の施設の
- } 皆様へ

愛知県で発生した高病原性鳥インフルエンザの対応として 緊急消毒を行います!

愛知県での高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生を踏まえ、長野県では次のとおり緊急消毒を実施します。対象となる施設の管理者には各家畜保健衛生所からご連絡します。

1 実施根拠等

家畜伝染病予防法第9条に基づく飼養者への命令により実施していただきます。
県が定める対象施設の消毒に必要な消石灰を県が支給し、その散布作業を飼養者に行っていただきます。

2 対象施設

県内全域の100羽以上の家きん(鶏、あひる、うずら、七面鳥、きじ、だちょう、ほろほろ鳥)飼養施設(但し、うずらについては飼養する全ての施設)及び家畜防疫員が必要と認めた施設

3 消毒方法

消石灰を飼養施設内(家きん舎周囲及び敷地外縁部)に散布します。(次ページ参照)
具体的な方法は家畜保健衛生所が指示します。

4 実施期間

平成21年3月12日~3月31日

5 必要資材

消石灰は県が購入し、管轄する家畜保健衛生所を通じて家きん飼養者に支給します。
支給日時・支給方法等については、家畜保健衛生所から連絡の上調整します。
実施の期日内に家畜保健衛生所の指導のもと、消毒を実施する農場に限り、薬剤費を負担します。

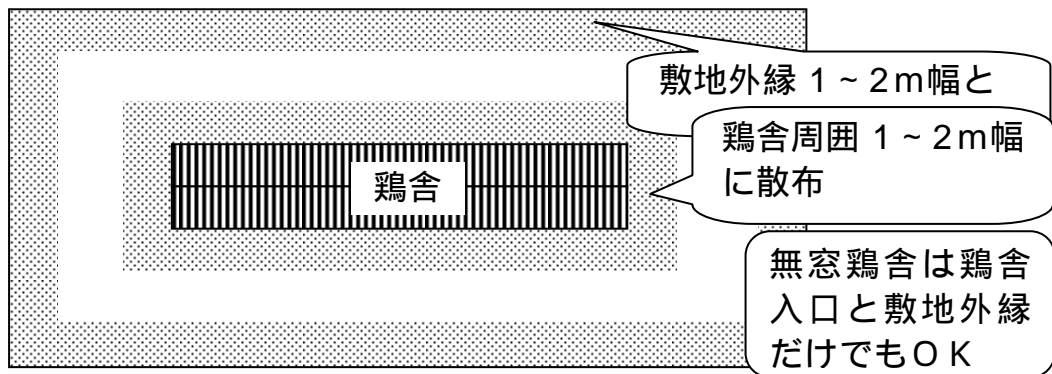
ご自身で購入された場合は、経費負担はできませんのでご注意ください。

6 その他

少羽数を飼養する学校、幼稚園、保育園等にある家きん飼養施設であっても、消毒のご要望がある場合は、1回分の消毒薬をお分けしますので、家畜保健衛生所へお問い合わせください。

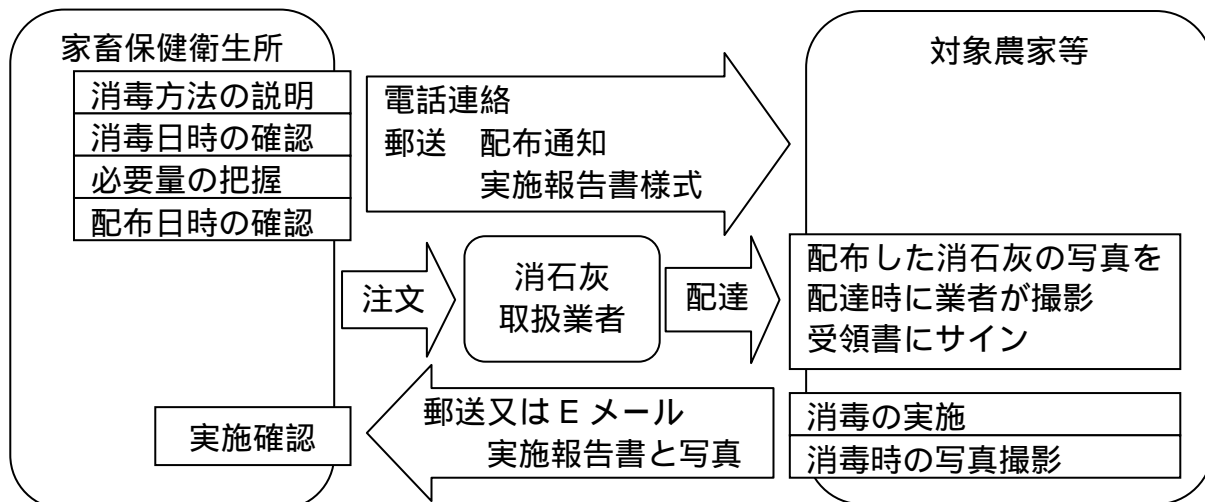
消毒の例

消石灰
散布量の目安
500g/平米



- ◎ 散布の方法として、「ひしゃく」や「み」を用いる、手押し式塩カル散布機を用いる等があります。
- ◎ 消石灰は皮膚や目を痛める場合がありますので、散布の際は、消石灰が皮膚や目に付着しないよう、手袋を使用し、風向きに注意して下さい。
- ◎ 散布場所が河川に隣接していて下流の近隣に上水道の取水口等がある場合、河川に流入しないよう注意して散布して下さい。
- ◎ 危険ですから生石灰は使用しないで下さい。

緊急消毒の流れ



公費支出に実施確認が必要ですので、お手数ですが、実施報告書にご記入の上、家きん舎周囲及び敷地外縁に散布したことが分かるような写真1~2枚を合わせて郵送・Eメール等により提出をお願いします。

家きんがHPAIに感染しないよう衛生管理を再点検し、侵入防止対策を徹底しましょう！

～鳥インフルエンザの侵入防止対策～

発生国(次ページ参照)へはなるべく渡航しない

また、渡航した際は、生きた鳥を売っている場所や鳥類を飼育している場所へは立ち入らず、帰国の際は空海港で靴底消毒を行う

飼育舎などに入る時は、必ず専用のはき物にはき替えるか、飼育舎入り口に踏み込み消毒槽を設け、靴を消毒してから入る

屋内で飼育し、防鳥ネットなどにより野鳥や野鳥の糞などとの接触を防ぐ

飲水に川や池などの水を使わない

飼養者はカモなどの渡り鳥の飛来地に近づかない

鳥が連続して死亡するなど異常があった場合は、速やかに家畜保健衛生所へ連絡して下さい

家きんの高病原性鳥インフルエンザの発生状況

■ = 輸入停止国【60カ国・地域】

《ヨーロッパ》
 イタリア H7N3
 感染確認日:2002.10.23
 ルーマニア H5N1
 感染確認日:2005.10.11
 トルコ H5N1
 感染確認日:2005.10.11
 アルバニア H5N1
 感染確認日:2006.3.9
 チェコ H5N1
 感染確認日:2007.6.22
 オランダ H7N7
 感染確認日:2006.8.1
 (注)オランダはワクチン接種につき
 2006.3.16以降輸入停止
 セルビア・モンテネグロ H5
 感染確認日:2006.4.5
 ポルトガル H5N2(弱毒)
 感染確認日:2007.9.19
 英国 H7N7
 感染確認日:2006.6.4
 ドイツ H5N1
 感染確認日:2008.10.14
 デンマーク H7
 感染確認日:2008.12.25
 ベルギー H5N2(弱毒)
 感染確認日:2008.12.25
 フランス H5N3(弱毒)
 感染確認日:2009.2.3

《ロシア、NIS諸国》
 ロシア H5N1
 感染確認日:2005.7.22
 カザフスタン H5N1
 感染確認日:2005.8.4
 ウクライナ H5N1
 感染確認日:2005.12.6
 アゼルバイジャン H5N1
 感染確認日:2006.3.1

《北東アジア》
 中国 H5N1 感染確認日:2004.1.27
 モンゴル H5N1 感染確認日:2005.9.2
 北朝鮮 H7 感染確認日:2005.3.15
 韓国 H7N8(弱毒) 感染確認日:2007.11.26
 H5N1 感染確認日:2008.4.2
 H5N2(弱毒) 感染確認日:2008.10.4
 H5N2(弱毒) 感染確認日:2009.1.2
 台湾 H5N2(弱毒) 感染確認日:2008.12.17

●日本
 ●H5N1(強毒)
 感染確認日:2007.1.13
 清浄性確認日:2007.5.8
 ●H5N2(弱毒)
 感染確認日:2005.6.26
 清浄性確認日:2006.7.21
 ●H5N1(強毒)
 感染確認日:2004.1.12
 清浄性確認日:2004.4.13

《アフリカ》
 ナイジェリア H5N1
 感染確認日:2006.2.9
 南アフリカ H5N2
 感染確認日:2004.8.9
 ジンバブエ H5N2
 感染確認日:2005.12.5
 エジプト H5N1
 感染確認日:2006.2.21
 ニジェール H5N1
 感染確認日:2006.3.1
 カメルーン H5N1
 感染確認日:2006.3.14
 スーダン H5N1
 感染確認日:2006.4.21
 ユートゾワール H5N1
 感染確認日:2006.4.27
 ブルキナファソ H5N1
 感染確認日:2006.5.31
 ジブチ H5N1
 感染確認日:2006.5.31
 ガーナ H5N1
 感染確認日:2007.5.7
 トーゴ H5N1
 感染確認日:2007.6.26
 ベナン
 感染確認日:2007.12.6

《西・南アジア》
 イラク H5N1
 感染確認日:2006.2.6
 パキスタン
 H7 感染確認日:2004.1.27
 H5N1 感染確認日:2006.2.27
 インド H5N1
 感染確認日:2006.2.21
 アフガニスタン H5N1
 感染確認日:2006.3.17
 イスラエル H5N1
 感染確認日:2006.3.20
 ヨルダン H5N1
 感染確認日:2006.3.27
 パレスチナ自治区 H5N1
 感染確認日:2006.4.18
 クウェート H5N1
 感染確認日:2007.3.1

サウジアラビア H5N1
 感染確認日:2007.3.27
 バングラディッシュ H5N1
 感染確認日:2007.3.27
 イラン H5N1
 感染確認日:2008.1.17
 ネパール H5N1
 感染確認日:2009.1.19

《東南アジア》
 香港 H5N1
 感染確認日:2001.5.18
 マカオ H5N1
 感染確認日:2001.5.24
 ベトナム H5N1
 感染確認日:2004.1.9
 インドネシア H5N1
 感染確認日:2004.1.25
 ラオス H5
 感染確認日:2004.1.27
 (※H5N1 感染確認日:2006.7)
 カンボジア H5N1
 感染確認日:2004.1.25
 タイ H5N1
 感染確認日:2004.1.22
 マレーシア H5N1
 感染確認日:2004.8.5
 ミャンマー H5N1
 感染確認日:2006.3.14

《南北アメリカ》
 カナダ(弱毒タイプのため州単位での輸入停止)
 ブリティッシュ・コロンビア州 H5N2(弱毒) 感染確認日:2009.1.26
 メキシコ(弱毒タイプのため州単位での輸入停止)
 コアウイラ州他 H5N2(弱毒) 感染確認日:2005.3.31
 ドミニカ共和国 H5N2(弱毒) 感染確認日:2007.12.25
 ハイチ共和国 H5N2(弱毒) 感染確認日:2008.6.16

2009年2月10日現在



佐久家畜保健衛生所	0267-62-4123	飯田家畜保健衛生所	0265-53-0439	長野家畜保健衛生所	026-226-0923
同上田支所	0268-23-1630	(時間外)	0265-23-1111	県庁園芸畜産課	026-235-7232
伊那家畜保健衛生所	0265-72-2782	松本家畜保健衛生所	0263-47-3223	(時間外)	026-232-0111